



第8期中間報告書

平成22年4月1日▶平成22年9月30日

サクサ ホールディングス 株式会社

証券コード 6675



代表取締役社長 越川 雅生

株主の皆様には、平素より「サクサグループ」に対しまして、格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社第8期第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)における事業の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間のわが国の経済においては、アジア向けを中心とした輸出の回復などにより企業収益は改善傾向にあります。景気回復の勢いが緩やかになってきており、また、為替と株式市場の変動懸念など、先行きには引き続き不透明感が残されております。

当企業グループの主力市場である情報通信ネットワーク関連市場においては、光ネットワークをはじめとしたブロードバンド化の進展に伴い、多様化、高度化するネットワークを活用した様々な事業が生まれるなど大きな変化が続いております。

当企業グループにおいては、市場環境の変化を念頭におき、「業績の早期回復」と「成長軌道への回帰」を目指し、「経

営基盤の強化」と「事業の拡大」に継続して取り組んでまいりました。

「経営基盤の強化」につきましては、安定した収益体質を構築するため、グループ内機能の再編や要員の最適化などの経営改善施策に継続して取り組み、総原価の低減と付加価値の増大を目指してまいりました。

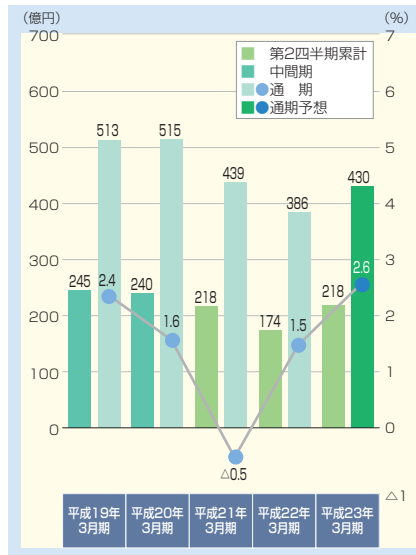
「事業の拡大」につきましては、ネットワークソリューション分野およびセキュリティソリューション分野において、音声、データに映像技術を融合させた商品を開発するとともに、マーケットインによりお客様が必要とする規模、性能および機能を満たしたソリューションの提供を目指してまいりました。その一環として、音声と映像を合わせたIPテレビインターホンシステムに加え、中小規模事業所向けのネットワークセキュリティ装置や画像認識技術を付加した各種センサの提供を開始いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、217億6千4百万円(前年同期比 24.9%増)となりました。利益面では、経常利益は4億1千万円(前年同期経常損失5千4百万円)と改善いたしましたが、時価の下落による投資有価証券評価損の発生があり四半期純損失が1億4千3百万円(前年同期純損失 2億6百万円)となりました。

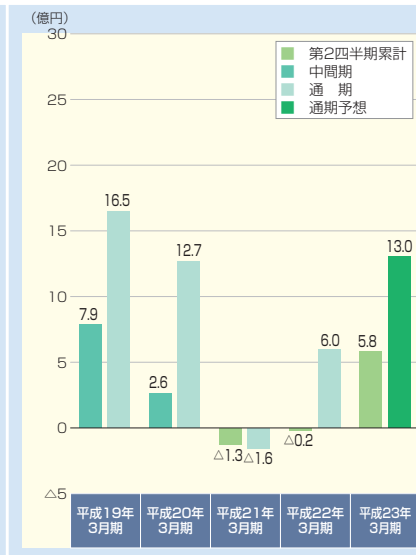
当社といたしましては、今後とも株主の皆様のご期待にお応えするため、なお一層の努力を重ねてまいり所存でございますので、株主の皆様におかれましても、引き続きご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

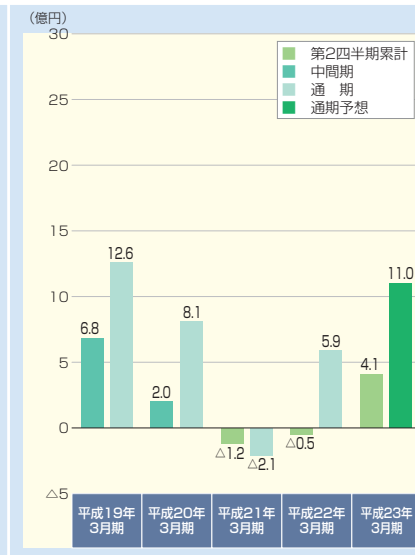
■売上高(左目盛) ●売上高経常利益率(右目盛)



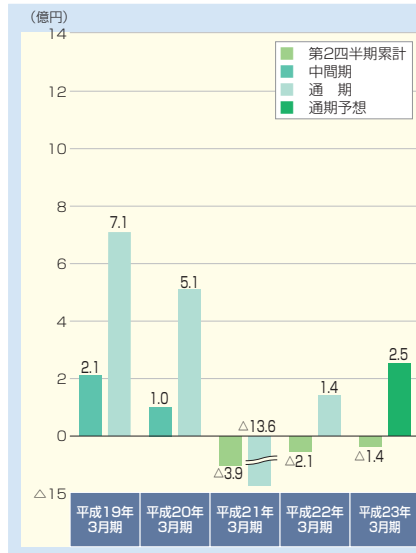
■営業利益



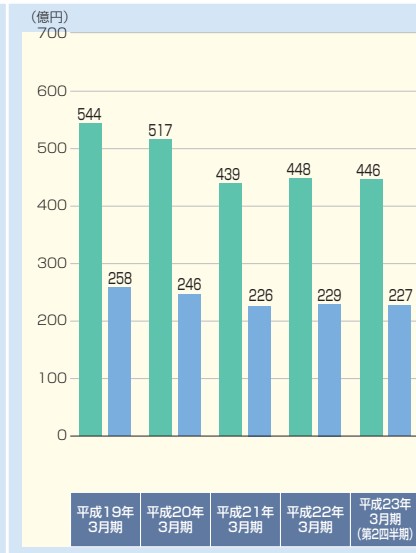
■経常利益



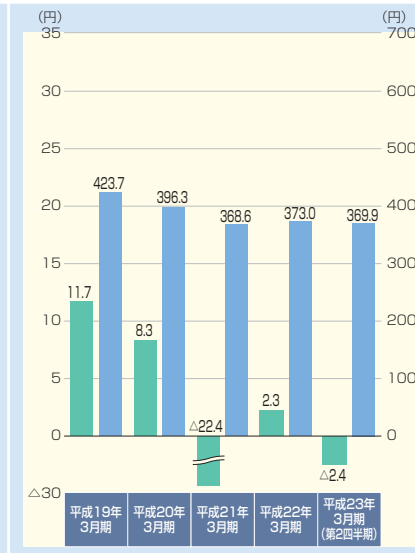
■当期純利益



■総資産 ■純資産



■1株当たり当期純利益(左目盛) ■1株当たり純資産(右目盛)



※1 グラフの数値については、表示単位未満を四捨五入しております。

※2 金融商品取引法における四半期報告制度の導入により、平成21年3月期から第2四半期の売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益については第2四半期連結累計期間の数値を掲載しております。

オールインワンタイプのモバイル決済端末「RT3000」を新発売！～決済サービス、ギフトサービス、ポイントサービスをご検討のお客様向け～

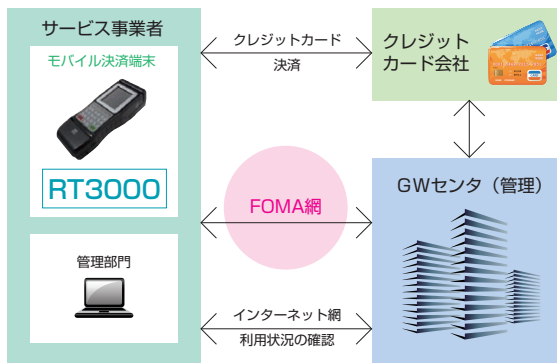
サクサ株式会社は、オールインワンタイプのモバイル決済端末「RT3000」を開発し、平成22年7月から発売いたしました。

「RT3000」は、磁気カードの読み取りに加え、接触・非接触ICカードにも対応しており、クレジットカードやプリペイドカードによる決済だけでなく、各種ポイントカードやギフトカードサービスの管理など、幅広い用途にご利用いただけます。また、本体にプリンタが内蔵されているので、本端末1台で決済まで完了することができます。

さらに、ハンディタイプですので、商品売場やテーブル、屋外など、据置き型の端末を利用しにくい環境でも、お客様のカードをお預かりすることなくその場で決済ができますので、お客様にスキミングなどの犯罪への不安感を与えることもありません。

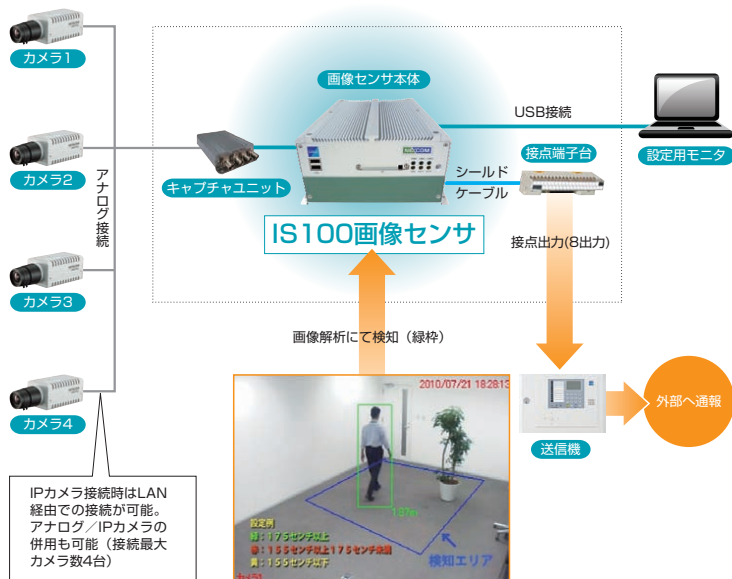
※「FOMA」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

■ スキーム例



画像認識技術を用いた「IS100画像センサ」を新発売！～侵入者、不審者等検知での誤報を大幅に低減～

■ システム概要



サクサ株式会社は、自社開発の画像認識アルゴリズムを用いた接点出力型のセンサ「IS100画像センサ」を開発し、平成22年9月から発売いたしました。

「IS100画像センサ」は、アナログカメラやネットワークカメラから取込んだ画像を解析して、侵入者、不審者等を検知し、異常情報を警備用送信機などへ接点信号により出力する機器です。

警備会社では、パッシブセンサや赤外線センサを使用して侵入者、不審者等を検知していますが、対象物を特定できないため、本来検知の対象としていない小動物などを検知し、通報してしまう誤報が多く発生し、そのつど、警備員が現地に駆けつけています。

「IS100画像センサ」は、あらかじめ監視したいエリアや対象物の高さを設定することで、画像から対象物を識別し、侵入者、不審者等を検知します。これにより誤報が大幅に低減され、警備員の駆けつけ費用、通信費用の低減を図ることができます。

また、監視したいエリアを自由に設定できるため、従来設定することが困難だった複雑な形状のエリア設定が可能になり、利用用途を広げることができます。

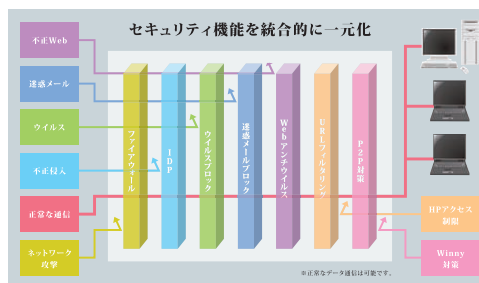
統合脅威管理アプライアンス(UTM)「SS1000」を新発売！～中小規模事業所向けに特化した、ネットワークセキュリティ装置～

サクサ株式会社は、複数のセキュリティ機能を1台の機器に集約した中小規模事業所向け統合脅威管理アプライアンス(UTM)「SS1000」を開発し、平成22年9月から発売いたしました。

近年、企業でのネットワークセキュリティ強化が求められていますが、中小規模事業所では、専任のネットワーク管理者を置くことは難しく、専用のセキュリティ装置を導入、運用するにも大きなコストがかかるため、ルータやウイルス対策ソフトウェアのみでセキュリティ対策を行っているのが実情です。

「SS1000」は、1台の装置に社内ネットワークへの不正侵入やウイルス対策など複数のセキュリティ機能を集約し、設定や運用管理の手間を大幅に削減しました。専門のセキュリティ担当者がいない中小規模事業所でも簡単に導入し、運用していただけるネットワークセキュリティ強化に最適な製品です。

■ 機能イメージ

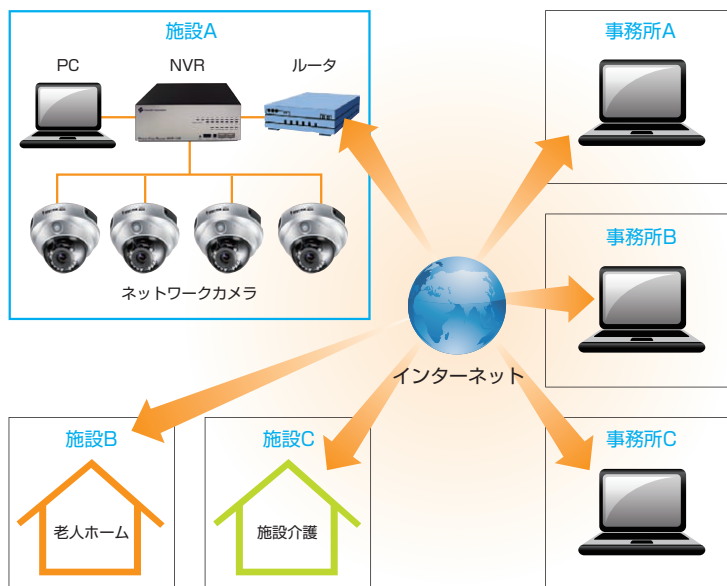


SS1000

※ UTM : Unified Threat Management

サクサのネットワークカメラシステムのご紹介 ～モニタリングシステムの老人ホームへの導入例～

■ 基本的なシステムの構成



このたび、サクサグループが提供するネットワークカメラシステムを利用したモニタリングシステムをサクサシステムエンジニアリング株式会社が構築し、老人ホームに導入いたしました。

この老人ホームでは、利用者の思い違いや忘れなどのトラブルの際、家族の方への確認や状況説明に多くの時間と労力を費やしていました。今回モニタリングシステムを導入したことにより、朝、施設に来たときの映像と帰るときの映像が確認できるため、物の紛失や思い違いを解決するまでの時間と職員の労力および利用者や家族の不安や不信感を軽減できたとの評価をいただきました。

また、事故が発生した場合、これまでは職員が、事故を再現するなどして事故原因を推測していましたが、ネットワークカメラを複数設置してモニタリングを行うことにより、録画映像を確認することで原因の詳細が即時に分かるようになりました。

連結財務諸表(要約)

●四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 (平成23年3月期)	前期末 (平成22年3月期)
(資産の部)		
流動資産	26,051	25,439
固定資産	18,525	19,324
有形固定資産	11,635	11,764
無形固定資産	4,210	4,402
投資その他の資産	2,678	3,156
繰延資産	39	49
資産合計	44,615	44,813
(負債の部)		
流動負債	12,115	11,663
固定負債	9,846	10,292
負債合計	21,961	21,956
(純資産の部)		
株主資本	22,683	22,827
資本金	10,836	10,836
資本剰余金	6,331	6,331
利益剰余金	6,605	6,749
自己株式	△1,090	△1,089
評価・換算差額等	△224	△175
少数株主持分	194	204
純資産合計	22,653	22,857
負債純資産合計	44,615	44,813

●四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 (平成22年3月期)	当第2四半期累計 (平成23年3月期)
売上高	17,423	21,764
売上原価	11,884	15,744
売上総利益	5,538	6,019
販売費及び一般管理費	5,558	5,436
営業利益(△損失)	△20	583
営業外収益	206	205
営業外費用	240	378
経常利益(△損失)	△54	410
特別利益	14	0
特別損失	248	445
税金等調整前四半期純損失(△)	△287	△34
法人税等	△76	119
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△153
少数株主損失(△)	△4	△9
四半期純損失(△)	△206	△143

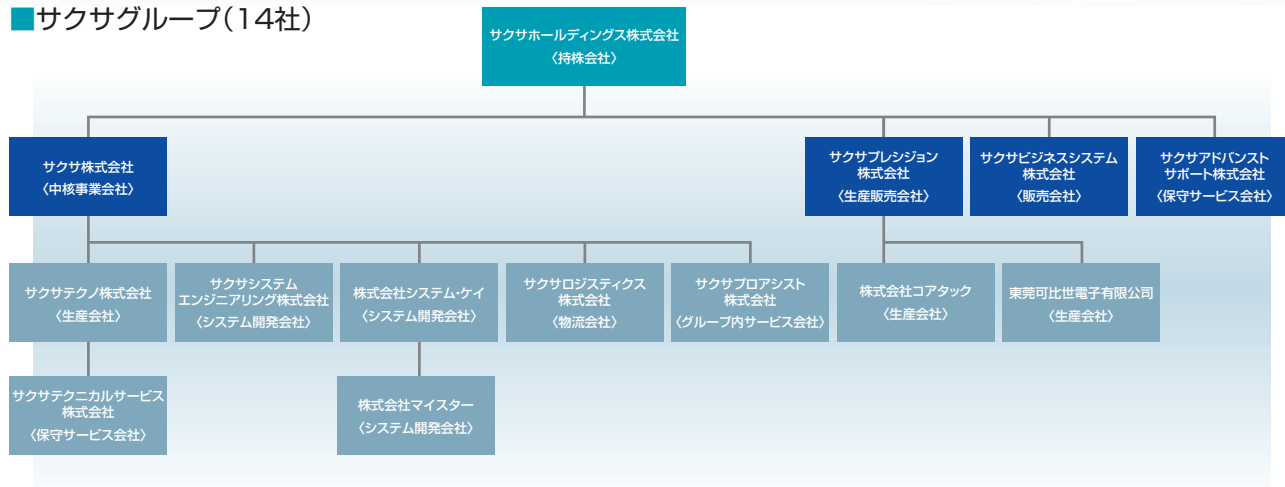
●四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 (平成22年3月期)	当第2四半期累計 (平成23年3月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,666	2,965
投資活動によるキャッシュ・フロー	△648	△938
財務活動によるキャッシュ・フロー	362	△657
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△5
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	1,379	1,364
現金及び現金同等物の期首残高	5,116	8,626
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,496	9,991

※P5に記載の数値については百万円未満を切り捨てております。

■サクサグループ(14社)



■サクサ ホールディングス株式会社

設立年月日 平成16年2月2日
 資本金 10,836,678,400円
 従業員数 1,430名(連結)
 19名(単独)
 本 社 東京都港区白金一丁目17番3号NBFプラチナタワー
 事業内容 情報通信システムの機器および部品の開発、製造および販売を主として行う子会社の経営管理等

●取締役および監査役

代表取締役社長 越川雅生	取締役 竹松睦男
常務取締役 松尾直樹	取締役 畠山俊也
常務取締役 鈴木 讓	取締役 吉村直樹
常務取締役 大内正樹	常勤監査役 福島正之
取締役 村田直光	監査役 島田俊治
取締役 木村廣志	監査役 河野 敬
取締役 島田知行	監査役 猪鼻正彦

※1. 畠山俊也および吉村直樹の2氏は、社外取締役であります。
 ※2. 河野敬および猪鼻正彦の2氏は、社外監査役であります。

■サクサ株式会社

設立年月日 平成16年4月1日
 資本金 10,700,000,000円
 従業員数 610名
 事業内容 情報通信システムの機器および部品の開発、製造および販売ならびにこれらに付帯するサービスの提供

●取締役および監査役

代表取締役社長 越川雅生	取締役 島田知行
取締役 松尾直樹	取締役 竹松睦男
取締役 鈴木 讓	常勤監査役 島田俊治
取締役 大内正樹	監査役 福島正之
取締役 村田直光	監査役 河野 敬
取締役 木村廣志	

※河野敬氏は、社外監査役であります。

●執行役員

社長執行役員 越川雅生	執行役員 羽鳥勝彦
常務執行役員 松尾直樹	執行役員 伊藤訓明
常務執行役員 鈴木 讓	執行役員 石田 潤
常務執行役員 村田直光	執行役員 大坂 貢
常務執行役員 木村廣志	執行役員 中村耕児
常務執行役員 島田知行	執行役員 井上洋一
常務執行役員 竹松睦男	執行役員 曾我部敦
常務執行役員 皆川忠志	

株式の状況

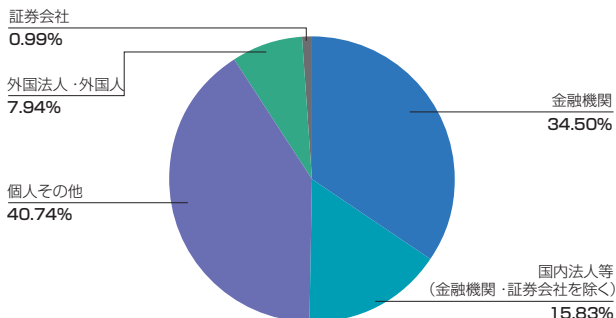
- 発行可能株式総数…………… 240,000,000株
- 発行済株式の総数…………… 62,449,621株
- 株主数…………… 7,949名

大株主

株主名	持株数	持株比率
沖電気工業株式会社	6,060千株	9.9%
日本電気株式会社	6,060千株	9.9%
株式会社みずほ銀行	2,339千株	3.8%
株式会社三井住友銀行	1,767千株	2.9%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,578千株	2.5%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,077千株	1.7%
シービーエヌワイ ディエフエイ インターナショナル キャップ パリュウ ポートフォリオ	1,027千株	1.6%
株式会社三菱東京UFJ銀行	959千株	1.5%
みずほ信託銀行株式会社	900千株	1.4%
三井住友海上火災保険株式会社	773千株	1.2%

- ※1. 当社は自己株式を1,726,540株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
- ※2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。
- ※3. 沖電気工業株式会社の持株数には、沖電気工業株式会社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式6,059,800株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 沖電気工業口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)
- ※4. 株式会社みずほ銀行の持株数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式1,778,000株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当の基準日	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他、必要があるときは、あらかじめ公告して定める日とします。

公告掲載URL <http://www.saxa.co.jp/>
 ※当社の公告の方法は、電子公告としております。
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号

(電話照会先) (フリーダイヤル)0120-288-324

(専用ホームページ) <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

特別口座管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

取扱店 みずほ信託銀行株式会社
本店および全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社
本店および全国各支店

株式に関する各種お手続き、お届出およびご照会について

株式に関するお手続き(単元未満株式の買取請求、届出住所・姓名等の変更等)のご照会およびお届出につきましては、証券会社での口座開設の有無に応じて、次のいずれかの窓口にご連絡ください。

【証券会社で口座を開設されている株主様】

……当該証券会社にご連絡ください。

【証券会社で口座を開設されていない株主様】

……みずほ信託銀行株式会社にご連絡ください。

